

②【質問者：子ども議員 多賀 萌衣さん】

「関ヶ原町のごみ問題」について提案をします。

関ヶ原町ではよく、イベントが行われています。様々なイベントで関ヶ原町を盛り上げようとしている中で、私たちが気になっているのが「ごみのポイ捨て」や「ごみが分別されない」といった、ごみ問題です。ごみ問題が続いていくと、せっかく来てくださった来場者の方の気分が悪くなってしまいます。また、関ヶ原町の印象にも悪影響を与えてしまいます。これでは、来場者を増やしたいどころか、減ってってしまうのではないのでしょうか。そこで、ごみのポイ捨てや分別しない人たちを減らすために、次の2つのことを提案します。

1つ目は、ポスターの設置です。今回は、私たちもポスターを作ってみました。それがこちらです。このポスターを、誰の目でも届くところに設置すれば、イベントに来た人がポイ捨てをやめたり、分別を心がけたりしてくれると思い、作りました。主な設置場所として、イベント会場のごみ箱の近くや、イベント会場内にある建物の壁、屋内が良いと思います。また、ポスターを持ちながら呼びかけをしたり、イベント会場内を歩いたりすれば、多くの人にごみ問題について知ってもらえると思います。

2つ目は、ごみで回る「ガチャガチャ」の開発です。この、ごみで回る「ガチャガチャ」は、未分別の対策として「燃えるごみ」「燃えないごみ」「プラスチック」「ペットボトルキャップ」の4種類に分け、当たりの景品を入れます。景品の内容は、町限定のごみ袋や補助券などです。1つのごみ袋に対する値段が高いという声を聞いたことがあるので、ごみ袋を景品として使用する案を考えてみました。また、補助券は5枚集めることで商品券1枚と交換できるようにすると良いと思います。また、観光客向けに、関ヶ原町の特徴である古戦場の要素を混ぜた「シークレット景品」を使用しても良いかもしれません。

以上の提案について、町長さんの考えをお聞かせください。

【答弁者：町長】

それでは多賀議員のご提案についてお答えします。

関ヶ原町に限らず、観光地でのゴミについては、大きな問題となっています。また、イベントを行えば、全国各地から多くの人を訪れるので、ゴミも多くなります。町内にゴミが落ちていると訪れる人の町に対する印象が悪くなってしまいます。

そこで多賀さんがご提案していただいた、一つ目のポスターの設置についてですが、イベント会場では、色々な多くのゴミが発生します。このゴミに対応するために、イベント会場では、臨時でゴミ箱を設置しています。このゴミ箱やイベント会場周辺にポイ捨てや分別のポスターを掲示することで、ゴミに関する意識も高まり、町内でのごみのポイ捨ての減少につながるのではないかと考えます。また、ポスターを持ちながら皆さんが呼びかけをすることで、より多くの人々がゴミ問題に関心を持ち、ポイ捨ての減少やゴミの分別を、より心掛けていただけたと思いますので、関ヶ原合戦祭りなどでポスターを設置できるようにしていきたいと思います。

二つ目のご提案の「ゴミで回るガチャガチャ」の開発ですが、家庭から出るごみは、ごみの種類毎に仕分けをしてゴミを出していただいています。これは人の手によってごみ分けていることになります。また観光施設には、常にゴミ箱があるわけでもなく、自分で出したゴミは、自分で持ち帰ることがゴミを出す人の責任と考えます。ゴミの種類は沢山あり、そして量も多いです。その中で特定のごみを振り分けることを機械で行うことは簡単ではなく、とても難しいことだと思いますので、研究開発には時間がかかると思います。ゴミの処理にはすごく費用がかかっていますので、処理費用を抑える工夫は必要だと思いますが、町でガチャガチャを開発することは、今の技術ではむずかしいので、ガチャガチャを使って景品を出すことは、将来の課題とさせていただきます。日頃からゴミの分別をしっかり行っていただき、リサイクルできるものはリサイクルに出すことを伝えていくことで、ゴミの分別、減量につなげることを進めていきたいと考えています。

今回、町のゴミ問題に関心をもっていただきありがとうございます。これからも色々なアイデアを提案してもらい、皆さんと一緒に関ヶ原町のゴミを少なくしていきましょう。

ご提案ありがとうございました。

では、私から多賀議員に質問させていただきます。

学校では、「ゴミを減らすこと」や「ゴミを資源として再利用する」ことについて、社会の授業などで学習されていると思います。

そこで、ゴミを減らすことやゴミの再利用として、小学校の皆さんが取り組んでいることを教えて下さい。

また、今回紹介していただいた、先ほどのポスターを、合戦まつりの会場で使わせてもらってもいいですか？